

平成24年度関西広域応援訓練の概要

H24.12関西広域連合広域防災局

1 訓練趣旨

- (1) 「関西防災・減災プラン」に基づく図上訓練
- (2) 「関西広域応援・受援実施要綱」に定める広域応援・受援活動の手続きや方法の確認と課題の抽出に資する訓練
- (3) 広域連合広域防災局、構成団体、連携県及び関係機関が一堂に会し、相互の連携強化や対応能力の向上を図る訓練

2 訓練日

平成25年2月13日(水) 12:00～17:00

3 訓練場所

グリーンアリーナ神戸(総合運動公園体育館)

4 参加機関

関西広域連合、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、内閣府、消防庁、全国知事会、九州地方知事会、自衛隊、警察、消防、海上保安庁、日本赤十字社、近畿運輸局、近畿地方整備局、関西電力、大阪ガス、NTT、トラック協会、建設業協会、神戸旅客船協会 等約50機関400名(調整中)

5 訓練内容

(1) 被害想定

南海トラフ巨大地震(東海・東南海・南海地震)の発生による揺れと津波により、関西広域に甚大な被害が発生した想定で、広域の応援・受援の図上訓練を行う。

(2) カウンターパートの設定

| 被災県 | 応援府県市 |
|------|------------------|
| 和歌山県 | 大阪府(大阪市、堺市)、奈良県 |
| 徳島県 | 兵庫県(神戸市)、鳥取県、 |
| 三重県 | 京都府(京都市)、福井県、滋賀県 |

和歌山県、徳島県、三重県以外の府県市も被害を受けるが、応援に回る想定とする。

(3) 訓練実施要領

ア 実施方法

集合方式(参加機関がグリーンアリーナ神戸に集合して実施)

イ 実施手法

ロールプレイング方式の状況付与型図上訓練

- ・ 場面設定及び時間経過に従って災害の発生状況、被害状況等を具体的に付与
- ・ 防災・減災プラン、実施要綱等の規定に従い、訓練参加者が関係機関と連絡調整を行い、必要なオペレーションを展開

6 訓練スケジュール

| フェーズ | 時間 | 訓練内容等 |
|----------------------------|-----------------|--|
| 開会準備 | 12:00 ～12:30 | オリエンテーション あいさつ、ルール確認 |
| 第1フェーズ (発災～ 3時間後) | 12:30 ～12:40 | 1時間後までの状況を模擬メディア、ナレーション等により付与 |
| | 12:40 ～13:10 | 被災県、広域連合が災害対策本部を設置 広域連合から被害の少ない団体に先遣隊(緊急派遣チーム)の派遣を要請 |
| 第2フェーズ (6時間後～ 24時間後) | 13:10 ～13:20 | 6時間後までの状況を模擬メディア、ナレーション等により付与 |
| | 13:20 ～13:50 | 広域連合対策本部会議、被災県災害対策本部会議の開催 カウンターパートの決定 国現地対策本部への職員派遣 現地支援本部の立ち上げ |
| 第3フェーズ (3日後～ 7日後) | 13:50 ～14:10 | 3日間(72時間)後までの状況を模擬メディア、ナレーション等により付与 |
| | 14:10 ～16:30 | 広域応援・受援の調整・実施 医療活動、避難所の運営、生活物資の供給、 健康対策、衛生対策、社会基盤施設の緊急対策、 ボランティアの受入、災害廃棄物の処理等 |
| 閉会式 | 16:30 ～17:00 | 講評 検討会(各機関へのアンケートを実施) |

7 検証

関西広域防災計画策定委員会委員等に検証員を依頼し、検証を行い、関西防災・減災プラン、関西広域応援・受援実施要綱を充実・発展させる。